

2020（令和2）年度 学部便覧及び大学院便覧

「教育職員免許状の取得について」の内容一部修正について

学部便覧 P104、P112 大学院便覧 P153、P161

「教師論Ⅰ」勝野正章先生

S1S2 火6 → A1A2 月6に変更

学部便覧 P106 大学院便覧 P155

「英語科教育法（実践）A」奥聡一郎先生（本郷開講）

木3・4 → 火3・4に修正

新課程

	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職論		2	いずれか1科目選択必修	浅井 幸子	S2	火3-4	教育	本郷	不可
		教師論Ⅰ		2		勝野 正章	A1A2	月6	教育	駒場	可
		教師論Ⅱ		2		高井良健一	7-9月	集中	教育	駒場	可
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育と社会		2	いずれか1科目選択必修	林 明子	S1S2	金4	教育	駒場	可
		教育社会学概論		2		中村 高康	S1S2	月3	教育	本郷	不可
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理Ⅰ		2	いずれか1科目選択必修	小野田 亮介	S1S2	金5	教育	駒場	可
		教育心理Ⅱ		2		伊藤 貴昭	S1	金1-2	教育	本郷	可
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育総論	1			堤 英俊	7-9月	集中	教育	本郷	可
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程Ⅰ		2	いずれか1科目選択必修	岩田 一正	S1S2	水5	教育	駒場	可
		教育課程Ⅱ		2		上野 正道	1-3月	集中	教育	本郷	可
教育課程論			2	富士原 紀絵		S1S2	火5	教育	本郷	不可	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育の理論と実践		2	中免のみいずれか1科目選択必修	西野 真由美	S1S2	月5	教育	駒場	可
		道徳と教育		2		片山 勝茂	S1S2	金4	教育	本郷	不可
		道徳教育法		2		藤井 佳世	7-9月	集中	教育	本郷	可
	総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法	1			越智 豊	7-9月	集中	教育	本郷	可
	特別活動の指導法	特別活動論		2	いずれか1科目選択必修	福島 昌子	A1A2	火6	教育	駒場	可
		特別活動の指導法		2		森 俊二	7-9月	集中	教育	本郷	可
		特別活動の指導法		2		森 俊二	A1A2	火4	教育	本郷	可
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	教育の方法Ⅰ		2	いずれか1科目選択必修	藤江 康彦	S1	月5-6	教育	駒場	可
		教育の方法Ⅱ		2		北田 佳子	7-9月	集中	教育	本郷	可
		教育方法論		2		渡辺 貴裕	S2	金5-6	教育	本郷	不可
	生徒指導の理論及び方法	進路指導・生徒指導※		2	いずれか1科目選択必修	寺崎 里水	S1S2	月6	教育	駒場	可
		生徒指導・進路指導※		2		山本 宏樹	A1	火2-3	教育	本郷	可
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談Ⅰ		2	いずれか1科目選択必修	高岡 佑壮	A1A2	月5	教育	駒場	可
		教育相談Ⅱ		2		綾城 初穂	A1A2	月1	教育	本郷	可
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	※本項目は「進路指導・生徒指導」または「生徒指導・進路指導」を履修することによって充足する。									
教育実践に関する科目	教育実習	教育実習Ⅰ		3	事前事後指導含む。中免は実習Ⅱを必修。高免はいずれか1科目選択必修。	斎藤 兆史 浅井 幸子	集中		教育		不可
		教育実習Ⅱ		5		斎藤 兆史 浅井 幸子			教育		不可
	学校体験活動	学校体験活動		1		今年度不開講			教育		不可
	教職実践演習	2	教職実践演習（中・高）	2		斎藤 兆史 浅井 幸子	A2	金5 金6	教育	本郷	不可

新課程

保健体育	身体教育方法論	上 岡 洋 晴	2	S1	火 1-2	教育	本郷	不可
	保健体育科教育法（実践）A	青 木 秀 憲 上 岡 洋 晴	2	S2	火 1-2	教育	本郷	原則2年次 から可
情 報	情報科教育法Ⅰ	辰 己 丈 夫	2	S1S2	月 5	理	本郷	可
	情報科教育法Ⅱ	辰 己 丈 夫	2	A1A2	火 1	理	本郷	可
農 業	農業教育Ⅰ	柴 田 道 夫	2	A1A2	木 2	農	本郷	原則2年次 から可
	農業教育Ⅱ	山 岸 順 子	2	S1	火 4 金 4	農	本郷	可
工 業	工業教育	工学部担当係に 問合わせること	4	工学部担当係に 問合わせること		工	本郷	原則2年次 から可
英 語	英語科教育法（基礎）	奥 聡 一 郎	2	A1	木 3 木 4	教養	駒場	原則2年次 から可
	英語科教育法（実践）A	奥 聡 一 郎	2	S1	木 3 木 4	教養	駒場	不可
	英語科教育法（実践）A	奥 聡 一 郎	2	S1	火 3 火 4	教育	本郷	原則2年次 から可
	英語科教育法（実践）B	越 智 豊	2	7-9 月	集中	教育	本郷	原則2年次 から可
	英語科教育法（実践）C	今 田 健 蔵	2	7-9 月	集中	教育	附属	原則2年次 から可

※「各教科の指導法」は、それぞれの教科においてのみ教職科目として単位が認められるので、注意すること。

例えば、英語の免許状取得を希望する者は、英語以外の教科の「各教科の指導法」科目の単位を修得しても、英語の免許状取得には、当該科目の単位を利用することはできない。

※実践科目を履修する前に、基礎科目の単位を修得しておくことが望ましい。

※科目名にA・B・Cが付されて開講する実践科目は、同一名称の科目を重複して履修することが可能な場合がある。また、便宜上、ナンバリングを付して開講することがある。

表4-2 「各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）」の単位の修得方法

免許状 教科	中学校教諭一種免許状		高等学校教諭一種免許状	
	本学認定授業科目	最低修得 単位数	本学認定授業科目	最低修得 単位数
国 語	国語科教育法（基礎）	2	国語科教育法（基礎）	2
	国語科教育法（実践）A	6	国語科教育法（実践）A	2
	国語科教育法（実践）B		国語科教育法（実践）B	
	国語科教育法（実践）C		国語科教育法（実践）C	
社 会	社会科・地理歴史科教育法（基礎）	2		
	社会科・公民科教育法（基礎）	2		
	社会科・地理歴史科教育法（実践）A	2		
	社会科・地理歴史科教育法（実践）B			
	社会科・公民科教育法（実践）	2		
地理歴史			社会科・地理歴史科教育法（基礎）	2
			社会科・地理歴史科教育法（実践）A	2
			社会科・地理歴史科教育法（実践）B	